

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスみかん猪名寺		
○保護者評価実施期間	2024年12月2日		～ 2024年12月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2024年12月2日		～ 2024年12月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	音楽の支援プログラムの中に『銭太鼓』の演技練習を取り入れている。模倣力、集団の中の協調性、自主性、注視・追視、体幹、リズム感、手と目の協応など様々なねらいが複合した活動に取り組んでいる。	活動意欲を高めるため、尼崎市の福祉の最大イベント「ミーツ・ザ・福祉」などの地域イベントでステージ発表の機会を設けている。大勢の人で行う演技披露の後の達成感や、集団で実施することの楽しさを感じてもらい取り組みを行っている。	取り組みを知っていただくために手作りの招待状を作成し、関係機関に配布している。SNS等の発信を活用し、別イベント出演にも広げていきたい。コロナ前に行っていた老人ホームなどでの発表も検討していく。
2	作業療法士や公認心理師による専門的な個別支援、小集団グループで取り組むソーシャルスキルトレーニングの実施。	集団活動とは別に、利用者の能力やスキルに合わせた個別支援を専門職の職員が継続して担当し、支援を実施している。また、グループ活動では自立に向けた生活課題や身だしなみ、体を緩める呼吸法のヨガなどを専門職が担当し、取り組んでいる。	固定の曜日の実施になっているため、長期休暇の時などを利用し、幅広く個別支援や小集団活動が行えるように努める。
3	事業所内外の連携を活かした支援が行われている。	相談支援事業所や学校、他機関との情報共有を適宜行い、支援計画の見直しや個別の支援方法を検討している。また、こどもの発達段階や特性に応じた支援を柔軟に調整している。	相談支援事業所や学校との連携だけでなく、地域の福祉・医療機関とも情報交換を行い、より包括的な支援体制を構築できるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の外部研修を受講する機会が少ない。	社内研修を受ける機会が多く、外部の講師による研修が少ない。	職員に合った外部研修を受講する機会があれば、職員へ向けて発信し、研修を受ける機会を確保していく。
2	ペアレントトレーニングなどの実施を行っていない。	個別対応を行うため、各家庭ごとで完結してしまい、全体でのペアレントトレーニングの実施を検討していないことが要因である。	再来年度に就労へ移行する利用者が多く在籍しているので、事業所の案内などの情報共有の場を設けることを検討していく。
3	活動プログラムの立案を管理者が担う割合が大きい。	小集団活動の立案・実施は職員が行うものの、全体のプログラムは管理者が中心となっている。	支援に携わる職員が、活動プログラムの立案にも関わる機会を増やし、役割分担を調整していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービスみかん猪名寺

公表日 2025年2月28日

利用児童数 16人

回収数 15

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	0	0	0		子どもの活動等のスペースについては、十分に確保されていると評価されているため、引き続き維持していく。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	3	0	0		職員の配置数については、おおむね適切と評価されているため、引き続き確保していく。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	2	0	0	トイレの数が少ないと感じる	生活空間の構造化や設備のバリアフリー化については、トイレの数が少ないとの意見があったが、増設は難しいため、必要に応じて2階のトイレも使用できるよう対応を継続する。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	0	0	0		生活空間の清潔さや快適さについては、良好な評価のため、引き続き維持していく。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	0	0	1		子どもへの専門的な支援については、概ね評価されているため、引き続き実施していく。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	0	0	2		事業所の支援プログラムについては、概ね適合していると評価されているため、引き続き提供していく。
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	0		個別支援計画の作成については、適切に作成されていると評価されているため、引き続き計画的に作成していく。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	0	0	4		放課後等デイサービス計画の支援内容については、一部未回答があるものの、大きな問題は見られないため、引き続き適切な設定を行う。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	0	0	1		計画に沿った支援については、評価されているため、引き続き実施する。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	0	0	0		活動プログラムの工夫については、良好な評価のため、引き続き多様な活動を提供する。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	7	2	3	3		放課後児童クラブや児童館との交流については、機会が限られているとの意見があるため、可能な範囲で地域との交流の機会を増やせるよう検討する。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	0	0		事業所利用時の説明については、適切に行われていると評価されているため、引き続き丁寧な説明を行う。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	0	0	2		放課後等デイサービス計画の説明については、一部未回答があるものの、概ね適切とされているため、引き続き実施する。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	1	3	1		家族支援プログラムについては、提供されているが、一部認識されていない可能性があるため、今後も継続し、周知を強化する。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15	0	0	0		保護者との情報共有については、良好な評価のため、引き続き継続する。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	2	0	0		定期的な面談や助言については、評価されているため、引き続き実施していく。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	0	0	0		職員の支援の姿勢については、良好な評価のため、引き続き維持していく。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	2	1	2		保護者やきょうだい向けの交流機会については、一部不足を感じる意見があるため、可能な範囲で機会を設けることを検討する。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	0	0	2		相談や申入れへの対応については、概ね評価されているが、一部未回答があるため、引き続き迅速な対応を心がけ、周知を徹底する。
	20 こどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	0	0	0		意思疎通や情報伝達の配慮については、評価されているため、引き続き実施する。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	1	0	0	通信やSNS等での情報発信については、概ね適切と評価されているため、引き続き発信を継続する。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	1	0	0	個人情報の取扱いについては、適切と評価されているため、引き続き管理を徹底する。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	0	0	1	事故・防災関連マニュアルや訓練については、評価されているが、引き渡し訓練の有無が不明との意見があったため、現状では検討していないが、職員向けの訓練は引き続き実施する。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	0	0	1	職員のための訓練があるか、引き渡し訓練があるのか不明 現在引き渡し訓練は検討していないが、緊急時伝言ダイヤルの使用訓練を職員は行っている。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	0	0	0	安全確保の取り組みについては、良好な評価のため、引き続き実施していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	0	0	0	事故発生時の対応については、評価されているため、引き続き迅速な対応を行う。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	0	0	0	子どもの安心感については、良好な評価のため、引き続き支援を行う。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	0	0	0	子どもの通所意欲については、評価されているため、引き続き支援を行う。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	1	0	0	生活介護の色が濃く、卒後の事業所へ切り替えられるか不安 事業所の支援への満足度については、概ね良好だが、卒後の切り替えに不安があるとの意見があるため、必要に応じて情報共有などを行い、スムーズな移行を支援する。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービスみかん猪名寺		公表日		2025年2月28日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	0	適切なスペースを確保できている。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		12	0	基本2対1の人員配置にしており、専門支援の職員や個別対応ができる等考慮した配置にしている。	今後も継続していく。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		12	0	写真や文字を使つての視覚支援を行い、児童に配慮した環境を整えている。	今後も視覚支援などを取り入れ児童に配慮した環境を整える。また、改善などが必要な場合は適宜対応をしていく。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		12	0	毎日の清掃、その日の使用物消毒を行なっている。活動フロアと学習スペース等を分けて活動が組める空間となっているため、活動に合わせた空間の使用ができる環境になっている。	今後も継続していく。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		12	0	部屋数はあるため、必要に応じて使用できる環境となっている。	今後も継続していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	2	支援の目標を設定、振り返りを行うことで支援の改善に努め、職員間のミーティングで積極的な発言の機会を設けている。	月に数回の勤務の職員は中々参加が難しいので参加できる機会を設けていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	2	保護者様からの事業所評価を伝え、改善が必要である事があれば都度職員の意見と共に業務改善に努めている。	社員・常勤職員は随時把握できる環境にあるが勤務回数の少ない職員についてはタイムリーな把握が難しい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1	職員から管理者へ相談や意見を伝える場を設け、必要に応じて改善に努めている。	改善に繋がるように必要なプロセスを行うため反映するのに少し遅くなる場合もある。流動的に改善を行えるように対応していく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	6	相談支援、小中高等学校の先生等の見学などを受け入れ、意見をいただいた際には業務改善へと繋げている。	第三者からの意見などは常勤職員での共有を主としているので、全職員へ周知できる体制を整える。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	0	社内で発信があった場合などは、職員へ研修案内として発信を行っており、各個人での研修参加も推奨し事業所内で共有を図っている。	研修機会の確保できるように今後も発信を行っていく。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0	支援プログラムの作成は行っているが公表はできていない。	支援プログラムの公表をおこなえるようにする。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12	0	保護者のニーズを把握し児童の様子に合わせて支援計画の作成を行っている。	保護者のニーズ優先しがちになるので児童のニーズも合わせて分析を行うように努める。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0	全職員への周知を心がけ職員間で支援の齟齬が生まれないようにしており、作成の際に現状の中で最善になるように努めている。	今後も職員全員の共通理解を持てるように努める。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0	全職員が支援計画の閲覧ができるようにし職員周知を行っている。支援計画に合わせた支援を行っている。	計画に合わせた支援が行えるように、支援の内容を振り返る場を設けるようにしていく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	2	面談前に事業所内のアセスメントを行っているが、日々の様子等は個別に評価表を作成し記録を残している。	計画の作成の際に今後も継続していく。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	3	各項目を設定したうえで本人支援は5領域を踏まえて設定をおこない他項目も支援内容を具体的に作成している。	移行支援などは学年によって変わることがあるので細やかな見直しを心がける。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	1	立案は管理者が担当している部分が多いが、小集団活動はグループで立案・実施を行っている。	可能な限り支援に携わる職員に活動プログラムの実施を担ってもらっているが、合わせて立案も担ってもらえるように努める。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	1	プログラムが固定化しないように週毎でプログラムの作成を行っている。	今後も継続していく。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12	0	児童の状況に合わせて個別・集団両方の観点からの作成を心がけている。	今後も継続して行う。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	3	送迎前に打ち合わせの時間を設けているが送迎の時間の兼ね合いや長期休暇などは打ち合わせの時間を取れない時もある。	送迎時間の兼ね合いや長期休暇などは打ち合わせの時間が取れず、随時伝えながら行う時もあるので、なるべく時間を作るようにす
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	4	常勤職員で支援の振り返りを行い、必要に応じて全職員へ周知をおこなうようにしている。	非常勤職員も含めて振り返りをおこなう機会も確保し必要に応じて発信を行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	1	日々の担当職員を決め、課題評価や様子の記録を作成してもらうようにしている。	記録の確認を行い、必要に応じて改善を行っていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	2	半年に一度モニタリングを行い状況に応じて支援の見直しを行い計画の作成を行っている。	今後も継続して行う。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10	2	基本活動を中心に自立に向けた生活課題、季節に沿った創作活動、地域のイベント参加、植物に触れる活動等も組み入れている。	今後も、様々な活動を組み合わせ支援の提供を行っていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	1	活動提供の際は、自身で選択する場面を組み込み込んでいる。(おやつ選択、自立活動の選択他)	自己決定を尊重し、自信を持って選択ができる環境を今後も作っていく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	2	基本は児童発達管理責任者が参画しているが必要に応じて支援員も参画している。	今後も、必要に応じて支援員にも参画の依頼を行う。
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	4	相談支援との連携をとっており、他機関は相談支援を通して情報共有を行っている。	相談支援だけではなく他機関との連携も強化していきたい。
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	11	1	学校との情報共有は、基本、保護者様を通して行っている。学校連携会などは管理者が参画し連携を取れる体制を整えている。	学校側の規定に合わせて柔軟に対応していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	3	新規1年生利用の際は児童発達支援事業所との情報共有を行っている。	今後も継続して行う。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	7	該当利用者なし	必要に応じて移行のタイミングで情報共有をおこなっていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	5	現在は児童発達支援センターとの連携は行っておらず助言等をいただく機会は設けてはいない。	研修などがある場合は積極的な参加を行っていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	3	それらとの交流はないが、地域の公園や地域イベントで関わりはある。	地域の児童との交流を密に行うことは予定はしていないが、要望などがある場合は必要に応じて検討していく。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	8	4	基本は管理者が自立支援協議会へ参加している。	自立支援協議会での内容を全職員へ情報共有できるように努める。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	送迎時やLINEなどの連絡用ツールを使用して利用者の様子や課題の共通理解に努めている。	今後も継続して行う。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	6	個別での相対対応などは行っているが保護者様向けに研修の機会などは設けていない。	今後、研修の機会などがあれば必要に応じて発信を行っていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	1	契約時に説明を行っており、重要事項説明書が変更になった際には随時、説明を行っている。	今後も丁寧な説明を心がける。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	2	半年に一度面談の機会を設けており、保護者様の意向を確認するようにしている。	今後も継続して行う。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11	1	支援計画を示し説明を行い、同意をいただいている。	今後も継続して丁寧な説明を行う。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0	相談を受けた際は面談の機会を設け、助言を行うと共に家庭との連携も取りながら支援を行っている。	今後も必要に応じて面談や助言を行っていく。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	10	2	保護者会の開催は行っていないが親子交流会を開催しご兄弟も参加をしていただき兄弟同士で交流を行える場を設けている。また、交流会内で参加されている保護者様同士の交流を行える機会も設けている。	保護者会の開催予定はないが親子交流会で保護者様やご兄弟の交流の場を今後も設けていく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	2	苦情などをいただくことはないが、ご意見いただいた際には迅速に対応し適宜改善を行っている。	今後ともご意見をいただいた際は、迅速に対応させていただきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12	0	月1回通信を発行しており月間行事や活動の様子を発信している。イベント出演の際は、SNSを活用し情報発信を行っている。	今後も継続して行う。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	1	鍵付きのキャビネットに保管し、外部の方などが見れないように保管をしている。また、職員が外部に個人情報を流出しないように誓約書をもらっている。	今後も個人情報の取り扱いには十分に留意していく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	1	保護者様との連絡ツールにSNSを活用し情報伝達をスムーズに行えるようにしている。利用者様には視覚重視の伝達を心がけている。	現状を維持しながら、必要があれば適宜改善を行っていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	6	事業所の行事に地域住民の招待は行っていないが、地域のイベント参加の際は、関係機関・者に招待状を送り舞台発表などを行っている。	現在、地域住民を招待できる行事を行う予定はないが機会があれば必要に応じて実施を検討する。今後も継続して地域のイベントへ積極的に参加を行っていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	0	マニュアル策定はできており職員への周知し訓練の実施も行っている。事業所入口にマニュアルを設置し保護者様も閲覧可能となっている。	保護者様が見やすいようにマニュアルの配置場所の変更を適宜検討していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	1	BCPの策定はしており職員への周知もおこなっているが訓練の実施は特定の職員のみ行っている。	全職員に向けて訓練を行えるように努める。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12	0	服薬などがある場合は事前に保護者様と情報共有をおこない職員へ周知を行っている。てんかん発作時のマニュアルを店舗に掲載している。	今後も必要に応じて保護者様と情報共有を行う。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	4	アレルギーの利用者がいない為、該当なし。	今後、必要があれば適宜対応していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	1	安全計画の策定し研修の実施もっており安全管理への意識を持ち支援を行っている。	今後も必要に応じて、研修や訓練の実施を行っている。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	1	各家庭ごとの発信は行っておらず、通信等での発信を行っている。	各家庭ごとに取り組み内容を伝え連携が取れるように努める。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	2	ヒヤリハット報告書を作成し、再発防止を検討し全体周知を行っている。	今後も継続して行う。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0	虐待防止委員会より研修の案内があり、職員への発信を行っている。	今後も継続しておこなう。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	2	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについては組織的に決定しているが該当利用者はない。	基本的には身体拘束を行わない支援方法を検討していく。	